補助金交付申請書（様式2）記入例

補助金申請者の概要欄は、適用申請書<様式2-2・VI-1>に記載した事項と相違ないか確認してください。相違、変更がある場合は、計画変更の手続きを行ってください。

支援室からグループ事務局にご案内する事業者番号「04 00## ● ** ¥¥¥¥」を記入してください。 ● : B 又は T

交付申請を提出する受付時期を記入してください。

(様式2) 事業者番号 **040999B1329680** 交付申請の受付時期 **第3期**

申請日: 平成 **26** 年 **10** 月 **20** 日

地域型住宅ブランド化事業実施支援室 殿

補助金交付申請書【補助金申請者記入用】

を受けた「地域型住宅ブランド化事業」について、補助金交付申請を行う対象住宅が、補助対象となる住宅の要件を満たした要件(共通ルール、地域材の認証制度として有効なグループ構成員による供給等)等、地域型住宅ブランド化事業に必要な事項に適合していることを確認し、補助金交付申請書及び添付書類一式が事実と相違ないことのため、補助金交付申請書及び添付書類一式を提出します。

・補助金申請者の概要

事業者名	株式会社〇〇工務店		
者名(フリガナ)	カブ シキガ イシャマルマルコウムテン		
代表者名	長持 住夫		
担当者名	長持 花子		
〒	789	-	0012
住所	東京都中央区〇〇町二丁目5番8号		
電話番号	03	-	2222 - 55**
FAX番号	03	-	2222 - 66**
緊急連絡先	080	-	5555 - 33**
E-mail アドレス	h-nagamochi@maru2.co.jp		

代表者印

申請窓口記入欄

☐ 当初登録	計変	回
☐ 追加登録	受付日	/
☐ 初回申請	謄本	有・代替
☐ 2回目～ 変更 無 → 建宅	建設許可	有・不要
有 →	宅建免許	有・無し

(注) この申請書は、1回の交付申請において1の申請窓口にて正副各1枚となります。1の申請窓口にて複数の対象住宅があっても、1の申請窓口毎に正副各1枚を作成し提出してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 **【H26】 地域型住宅ブランド化事業 補助金交付申請書**

会社名は、登記簿謄本と同様に記入してください。特に漢字の間違えに注意してください。(旧字などに注意)

代表者名は、登記簿謄本と同様に記入してください。特に漢字の間違えに注意してください。(旧字などに注意)

代表者名が2名の場合は、適用申請書に記載した代表者を記入してください。

登記簿謄本の本社の所在地を記入してください。「大字」「字」の記入漏れが多いので注意してください。

平成27年1月以降の申請の際は「27」であることを確認してください。

2回目以降の申請の際は初回の申請時に使用した印と同じ印を使用してください。

本社の電話番号です。下4桁の記入違いが多いので注意してください。

この様式は1つの申請窓口で正副各1枚です。申請窓口が複数になる場合は、申請窓口の数だけ作成してください。※同じ申請時期、同じ申請窓口で、複数の住宅を申請する場合であっても、1つの申請窓口で正副各1枚です。

使用する様式は正しいですか。【H26】と記載されている様式を使用してください。